

# 時の副詞的補語との共起関係から見た 過去形の分類

山本 佑樹

## 1. はじめに

スペイン語直説法におけるいわゆる2つの過去形、単純過去と未完了過去の使い分けは、学習者にとっても教授者にとっても非常に困難とされてきた。その理由としては、そもそも過去形が2つあるということが大きく、どのような場合にどちらの過去形を使うのかが非母語話者にとっては不明確であるためである。単純過去と未完了過去を区別するための規準や指標がいくつか提示されているものの、例外もあり決して明確ではない。本研究において目指すことは、スペイン語におけるこの2つの過去形の用法の違いを記述し、その違いをより明確にし、時を表す副詞的補語との共起関係から分類を進めることである。また、時の副詞と過去形の共起関係を見る上で、いわゆるアスペクトの要因もその共起関係に深く影響していると思われるので、意味相・形態相という観点にも着目し、時の副詞的補語と合わせて過去形を分類していく。

## 2. 名称

スペイン語の2つの過去時制に対して、日本独特の「点過去」「線過去」という呼び方が辞書や教科書、または論文においても多く使用されている。しかし、これは学習者、さらには教員や研究者にとっても誤解を招きやすく、そのためスペイン語を教える側と教わる側の間に解釈の差が生じる場合も大いにある。点という表現からは事柄が一瞬で終わったようなニュアンスが伝わり、線という表現からは出来事が永遠に続くようなイメージが思い浮かぶ。しかし点過去と言っても、とても点とは思えないような長い期間を表すこともよくあることである。例えば、以下の例を見てほしい。

(1) Durante un mes viví en España.

(2) Durante un año viví en España.

(3) Durante 10 años viví en España.

このような上記の例では、どれもイメージでは点ではなく線で描かれるような長い期間を表している。それにもかかわらず、線過去ではなく点過去を使って表現されるのである。

このように、点と線という表現で過去形を分けてしまうとイメージや解釈の仕方が人によって変わってきてしまう。そのため、筆者は点過去・線過去という名称は妥当ではないと考える。従って、本研究では Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española（以下、RAE & ASALE と記す）(2009)によって用いられている Pretérito perfecto simple「単純過去」及び Pretérito imperfecto「未完了過去」という名称を用いて研究を進めていく。なお、Pretérito perfecto simple は逐語訳では「単純完了過去」だが、慣例として「単純過去」と言われているため、本稿では「単純過去」という訳を用いる。単純過去という表現は、単に出来事が過去に終了したということを表しており、点過去という表現よりも的を射た表現であると思われる。また、未完了過去という表現は、出来事が過去に終了していないということを表しており、こちらも線過去という表現

よりも適していると筆者は考える。

### 3. 絶対時制と相対時制

時制は絶対時制と相対時制に分けることができる<sup>1</sup>。絶対時制とは出来事を発話の瞬間に関連づけて表現される時制のことである。一方、相対時制とは、動詞が表す主筋となる出来事に対して、他の動詞や時を示す表現を使い、主筋となる出来事に間接的に関連付けて時を表すものである。例えば、直説法において動詞は基本的に「過去」「現在」「未来」を示す。そして、話者が話している時制を現在とすると、動詞は現在を基準とする絶対時制を表す。しかし、時間を計る基準点は話者が発話しているという現在だけではない。例えば、昨日から見て今日の出来事はどのようなのか、未来から見た今日はどのようなであったのか、というように、過去や未来を基準にした見方も考えられる。さらに、そのような過去や未来という基準点から見て、出来事は起こった後なのか、これから起こるのかというような時間を表現する必要も出てくる。このような、話者にとっての現在以外を時間の基準点とするものは相対時制と呼ばれる。

西川(2009, p.302)に従って、スペイン語の動詞の直説法の各時制を絶対時制と相対時制に分類すると次のようになる。

絶対時制...現在、単純過去、未来、現在完了

相対時制...未完了過去、過去未来、過去完了、未来完了、過去未来完了、  
直前過去完了

<sup>1</sup>時制について述べる時には、Reichenbach(1947)が示す3つの時点、「発話の時点(the point of speech)」、「事象の時点(the point of event)」、「言及の時点(the point of reference)に言及することが多い。山村(2011)も「Reichenbach(1947)が英語の現在完了、過去完了を説明するために「参照時(reference time)」を導入して以来、言語学においては時制を定義する際にこの「参照時」に言及することが一般的」となったと述べている(「参照時」とは既出の「言及の時点」を表す)。しかし、時制の定義に際してこの3つの時点すべてを認めるかどうかについては研究者の間で意見が分かれており、その点について議論することは本稿の目的からは外れる。また本稿では複合時制についても取り扱わないので、この問題については間接的に述べるだけに留める。なお、絶対時制・相対時制に関する本稿の記述はRAE&ASALE(2009)に従った。

本稿では、研究対象である絶対時制の単純過去と相対時制の未完了過去のみを扱う。また、接続法は扱わず、直説法のみとする。

### 3.1 過去形と時制

では、単純過去が絶対時制であり、未完了過去が相対時制であるということを示す例を見ていく。単純過去は、ある過去の出来事がいつ起きたかという直接的な時の位置を表す絶対時制である。

(4) *Ayer salí con un amigo.* 私は昨日友人と出かけた。

この例の *salí* は、発話者にとってこの出来事が過去に起こったものであり、発話している現在からみて過去にあると見なされている。そのため、発話された現在から計って過去の出来事を表しているため、絶対時制であるといえる。

一方、未完了過去の時制は相対時制である。つまり、発話された現在から時間を計るのではなく、ある他の時制に基づいて時間を計る。次の例を見てほしい。

(5) *Nevaba mucho cuando me levanté.* 私が起きた時、雪がたくさん降っていた。

この例において、まず基準となる時点は、「私が起きた時」という時の副詞節が示す部分である。そして、*Nevaba* が示している「雪が降っていた」という時は、「私が起きた時」から見た時点であり、発話された時点ではない。一方、この例文の *cuando me levanté* に含まれる単純過去は、*Nevaba* に対して基準となる時制を導入しているため、絶対時制であると言える。つまり、絶対時制を使うことで出来事の基準となる時点を導入し、その出来事の補足的な説明や描写は相対時制を使って表現されるとまとめられる。従って、

「相対」という表現が示すように、相対時制が使われる場合は基準となる時を示す表現が発話時以外の時点にあることが多い。

未完了過去は、pretérito imperfecto という名称の他に copretérito という名称でも呼ばれる。Bello(1847)によると、copretérito は過去の物事との共存を意味している。というのも、RAE&ASALE(2009, p1748)によると、「未完了過去で構成された文は発話の瞬間より前に出来事が位置づけられる領域を必要とする(日本語訳は筆者)」からである。つまり、未完了過去は何らかの時間を基準にして使用されるということである。

#### 4. 時制とアスペクト

動詞に関わる文法範疇の中には時制とアスペクトがある。

時制とは、動詞が表す出来事がどの時間的な位置に属するかを示す文法範疇であり、動詞に示された出来事の時間を発話の瞬間に関連させる。時は、過去から未来へ続く区切ることのできない連続しているものであると考えられる。しかし、時制について述べる時は、時という概念を便宜上、過去、現在、未来の3つに区別して議論が進められる。スペイン語では、時制は動詞の屈折によって表現される。本稿では、研究対象である過去について扱っていく。

アスペクト、もしくは相とは、動詞が表す事柄がどのような状況であるかを表すものである。一般に、形態に関するものは形態相と呼ばれ、意味に関するものは意味相と呼ばれる。

##### 4.1 形態相

スペイン語の動詞の単純形と複合形は形態相として扱うことができる。単純形は未完了相、複合形は完了相の時制である。しかし、直説法の単純過去は完了相である。未完了相の時制では、話者は出来事の始まりや終わりには注目せず、出来事の途中経過や状況を説明することのみを意識している。一方で、完了相の時制では、ある行為が完了したことを表すため、出来事の始まりや終わりの時間的な境界がはっきりとしている。例えば、

Estudié español. 「私はスペイン語を勉強した」(単純過去)は、過去に完了した出来事であり、現在は勉強を終えていることが分かる。一方で、Estudiaba español. 「私はスペイン語を勉強していた」(未完了過去)は、過去に継続中であった行為を示しており、現在は勉強を終えたのか終えていないのかははっきりしていない。

西川(2010, p.165)によると、スペイン語の動詞の直説法の各時制は次のように分類できるという。

未完了相...現在、未完了過去、未来、過去未来

完了相...単純過去、現在完了、過去完了、未来完了、過去未来完了

#### 4.2 意味相

意味相は、動詞の意味が表す出来事がどのような状況であるかを表す。例えば、ある出来事がすでに完了したことなのか、それともまだ継続しているのか、というようなことを表現するものである。形態相も意味相も、どちらも出来事の状態や状況を示すものである。しかし、形態相が主に動詞の形態によって出来事の様態を表すものであるのに対し、意味相は様々な動詞の1つ1つの意味が表す様態に関するものを扱う。意味相はさらに細かい分類をすることができるが、スペイン語文法の時制において最も重要であると思われるものは、大きく分けて完結相と非完結相である。

完結相とは、出来事が終了に向かうことによって意味が成立するものであり、行為が1度切りであったりその瞬間に終わったりするものである。例えば次のような動詞が挙げられる<sup>2</sup>。

llegar「到着する」、romper「壊す」、disparar「発射する」、abrir「開く」、cerrar「閉める」、golpear「打つ」、chocar「衝突する」、tirar「投げる」、nacer「生まれる」、morir「死ぬ」など

<sup>2</sup>上記の完結相・非完結相の動詞の分類は畠山(2008)、西川(2009, p.303)、RAE&ASALE(2009)を参考にして筆者が行ったものである。

一方で、非完結相とは終了の概念がなくとも意味が成立し、継続したり繰り返されたりするものが多い。以下に例を挙げる。

andar「歩く」、correr「走る」、saber「知る」、desear「望む」、diferenciar「区別する」、pertenecer「属する」、pensar「考える」、respetar「尊敬する」、parpadear「点滅する」など

ここで注意しておきたいことは、西川(2009, p303)によれば、「行為に要する時間の長さは、完結・非完結を決定する要素ではない」ということである。例えば、beber「飲む」、subir「登る」、gritar「叫ぶ」、llevar「運ぶ」などの動詞は、たとえ出来事が継続したとしても、終わりに向かうことによって意味が成り立つので完結相であると言える。一方、nadar「泳ぐ」、charlar「喋る」、reír「笑う」、enfadarse「怒る」、pensar「考える」などのような動詞は、出来事がある程度継続することによって意味が成り立つ。そのため、たとえこれらの動詞に示された期間が短くても、終了の概念を含んでいないので非完結の意味相に属すると言える。しかし、1つの動詞が必ず完結か非完結のどちらかに属するとは言い切れず、文脈によって変わることもある。例えば、escribir「書く」という動詞は、文脈によって書いている状況を表すこともできるし、既に書くことを終えたという状況を表すこともできる。

#### 4.3 形態相と意味相

西川(2010)によれば、「形態相と意味相という2つのアスペクトの概念には相関関係があり、動詞の時制の作用に影響を与える」という。次の例を見てほしい。

(6) Salí de casa ayer a las 8 de la mañana. 私は昨日午前8時に家を出た。

(7) Salía de casa siempre a las 8 de la mañana. 私はいつも午前8時に家を出たものだった。

この例のように、完結相の動詞 salir「出る」が完了相の単純過去として用いられると、過去に終了した1度きりの行為として表現される。一方で、完結相の動詞が未完了相の未完了過去として用いられると、過去に繰り返された習慣的な行為として表される。これら2つの例は完結相の動詞+単純過去という組み合わせと、完結相の動詞+未完了過去という組み合わせの、基本的な用法を使って示されたものである。しかし次の例を見てほしい。

(8) Cuando preparaba la cena, sonó el teléfono. 夕食の準備をしていたら、電話が鳴った。

(9) Cuando salía de casa, sonó el teléfono. 家から出ようとしていたら、電話が鳴った。

(8)の例文で使われている preparar という動詞は意味相から見ると非完結相である。一方、(7)と(9)の例文で使われている salir という動詞は前述した通り、完結相である。完結相の動詞が未完了相の未完了過去として用いられると、過去に繰り返された習慣的な行為として表される、ということを先に述べたが、「～しようとしていた」という解釈もされるということが(9)の例文から分かる。つまり、「～したものだっ」と、「～しようとしていた」、「～していた」という3つの解釈が可能であるということになる。

完結相の動詞が一瞬で終わるような動詞(起動相や瞬時相と呼ばれる)である場合、時制が未完了過去であっても「～していた」という解釈をする事は難しいと考えられる。なぜなら、意味的に salía de casa「家から出ていた時」や llegaba a casa「家に着いていた時」という表現はされないからである。しかし、例えば decir は完結相であるが瞬間を表現する語ではない。そのため、未完了過去として使われた時に「～していた」と解釈することもできる。また、非完結相+未完了過去の場合、「～しようとしていた」という解釈をするならば、何か他の語を補わなければならない。例えば(8)の

例で「～しようとしていた」と表現したい場合、iba a preparar や estaba a punto de preparar のように、他の表現を加えなければ表すことができないと考えられる。また、(9)の例の salía が「～したものだ」と解釈されない理由は、この例文では sonó el teléfono がメインとして伝えられたかった事柄であり、その時の状況を説明するために salía という形が使われたため、過去に繰り返された習慣を表す「～したものだ」と解釈することは難しいためであると考えられる。この解釈については 8. データと分析で考察していく。

次の例では非完結相の動詞について述べる。

(10) Su voz tembló de cólera. 彼の声は怒りで震えた。

(11) Su voz temblaba de cólera. 彼の声は怒りで震えていた。

(10)の例は、非完結相の動詞 temblar「震える」+単純過去形という組み合わせであり、(11)の例は、非完結相の動詞 temblar「震える」+未完了過去という組み合わせである。(10)の例では、彼の怒りはその後収まったことが分かる。というのも、単純過去が表す出来事は現在とは関係がなく、既に終わったことだからである。しかし(11)の例のように、非完結相の動詞+未完了過去という組み合わせで使われた場合、この文だけではその後震えは収まったのか収まらなかったのかは判断することができない。なぜなら、未完了過去は行為の始まりと終わりについては触れず、その時どのような状況であったかということだけを伝えるからである。この例を見る限りでは、意味相の完結・非完結に関わらず、単純過去か未完了過去かという形態相が優先されると考えられる。なぜなら、もし上記2つの例の意味相が優先された場合、両方とも「震えていた」ということになり、文の意味を区別することができないからである。このように、文において時制を細かく分析してみると、時制の使い分けにアスペクトが関わってくるということが分かる。このような例に時の副詞が加わった場合、優先順位はどうなるのかということも含めて、最後に考察していく。

## 5. 単純過去と未完了過去の用法

アスペクトが時制に深く関係していることがこれまでの考察から分かった。同じ動詞によって示された出来事でも、形態相や意味相によって、全く異なる状況を表すことがある。第4章ではアスペクトという面から単純過去と未完了過去を見たが、この章では例文を使いながらさらに詳しく述べていく。まず単純過去と未完了過去の基本的な用法を述べ、最後に2つの過去形の使われ方の違いを示していく。

### 5.1 単純過去

直説法単純過去は発話時との関連において過去の事柄を一つのまとまりとして捉える絶対時制である。例えば、発話者がある出来事を単純過去を使って聞き手に伝えるとするならば、その出来事は既に終了したものであり、発話者はそのような出来事があったのだという事実のみを伝えたいだけで、その出来事から他の出来事を話者に連想させたり、状況説明をしたわけではない。また、動詞によって示された出来事が長い時間かかった場合でも、その出来事の始まりや終わりが明確であるならばやはり単純過去が使われる。

#### 5.1.1 基本的な用法

それでは、単純過去の基本的な用法を述べていく。単純過去の主な用法は、過去の出来事を既に終了・完結した出来事として述べることである。

過去の一度きりの行為を表す

過去に一度だけ起きた出来事に関して述べる。

(12) Encontré una moneda de diez yenes ayer. 私は昨日 10 円玉を拾った。

過去のある期間に起きたことを表現する

ある一定の期間に起きた出来事について述べる。

(13) Dormí desde las diez de la noche hasta las nueve de la mañana. 私は夜 10

時から朝 9 時まで寝た。

現在とは断ち切られた過去の行為を表す

示された事柄は過去の事柄であり、現在とは無関係の事に関して述べる。

(14) Vivió en Madrid hasta los siete años. 彼は 7 歳までマドリードに住んでいた。

現在とは関係のない事柄であれば、次の 2 つのような解釈もする事ができる。

- 1 長期間に起きた事柄を表す

長い間継続した出来事は未完了過去を使って表されるように思えるが、のように事柄が現在とは関係のない場合、単純過去を用いて表される。出来事の結果は表されるが、過程は表されない。

(15) La mujer vivió muchos años en la pobreza. その女性は長い間貧しく暮らした。

- 2 話者の心理による継続的な行為を述べる

話者の心理は重要で、たとえある過去の出来事が長期間続いたとしても、話者にとっては過去の一時に起きたものとして表す場合、単純過去が用いられる。

(16) Viajé mucho tiempo por Inglaterra. 私は長い間イギリスに旅行に行っていた。

スペイン語の動詞の中で、単純過去は出来事を過去に既に終結した事として扱うために用いられるが、これは、次に説明する終結していない出来事を表す未完了過去とは明確に区別される。

## 5.2 未完了過去

未完了過去形は、非完結相を持つ相対時制である。この過去形は、過去の出来事が終了したか否かは問題にせず、経過途中であったものとして表現する。出来事の始まりや終わりには注目しない。

### 5.2.1 基本的な用法

「継続中」や「終了していない」というような、始まりと終わりが見えない出来事に関して述べる時に用いられる。

過去における継続中の動作や状態を表す

継続中の出来事や終了していない出来事を表す。

(17)Cantaban una canción de amor. 彼らは愛の歌を歌っていた。

#### 状況描写

の過去における継続中の動作や状態を表すという解釈により、ある出来事に対する状況や背景を描写するために用いることができる。

(18)Cuando salí de la casa, llovía. 家を出た時、雨が降っていた。

過去の行為の反復・習慣を表す

過去に繰り返された出来事や、習慣として行われていた行為について述べる。

(19)Él fumaba mucho antes. 彼は以前たくさん煙草を吸っていた。

過去のある時点で起きようとしていた出来事を述べる

(20)Cuando salíamos de casa, empezó a llover. 私たちが家を出ようとしていた時、雨が降り始めた。

主節の時制を基準時点とした相対時制（過去における現在）

主節の時制が過去になった場合は、主節の時制を基準時点とし、従属節内の動詞は相対時制の未完了過去で表される（時制の一致）。

(21) Ella dijo que estaba en su casa. 彼女は自分の家にいると言った。

未完了過去は、出来事を過去に終結していない、継続したものとして捉えるため、過去進行形（過去形＋現在分詞）に近く、表される意味も進行しているように思えるが、未完了過去はたとえ進行していなくても用いることができる。Ruiz Tinoco(2004, p.130)も、「スペイン語の線過去が日本語または英語の進行形に訳されることが多いが、決して同じ用法ではない」と述べている。例えば次の例文では2通りの表し方ができる。

(22) Practicábamos una canción japonesa. 私たちは日本の歌を練習していた。

(23) Estábamos practicando una canción japonesa. 私たちは日本の歌を練習していた。

しかし次の例文では、動詞は状態を表しているのであって進行しているわけではないため、2つ目の例文のように言うことはできない。

(24) Vivía solo muchos años. 彼は長い間一人で暮らしていた。

(25)\* Estaba viviendo solo muchos años. 彼は長い間一人で暮らしていた。

### 5.3 単純過去と未完了過去の用法の違い

この2つの過去形の使い分けはいつも困難であるが、使い分けの簡単な例としては物語の中での描写の仕方が挙げられる。物語では、主筋となる出来事の描写を単純過去で表し、その背景や付随的な描写は未完了過去を用いて表す。

(26) En 1500 una flota que se dirigía a Calcuta, al mando de Pedro de Cabral, fue desviada de su rumbo y llegó a las costas de Brasil. 1500年ペドロ・デ・カブラルに率いられ、カルカッタに向かっていた船団は航路を外れ、ブラジルの海岸に到達した。

(寺崎; 1999, p33, 下線は筆者による)

(26)の例では、船団が航路を外れ、ブラジルの海岸に到達したことが主筋となる出来事であるため単純過去(棒線部)で描写されており、ペドロ・デ・カブラルに率いられたという背景描写は未完了過去(波線部)で表されている。

この例からもわかるように、単純過去と未完了過去の両方の過去形が1つの文の中に出てくることはよくある。そのため、2つの過去形の使い分けを理解しておくことが重要である。また、本研究においても単純過去と未完了過去の使い分けは研究を進めていく上でも重要なので、ここでさらに詳しく2つの過去形の主な用法の違いを記述しておく。

まず、基本的な用法の違いとしては、前に述べてきたように、単純過去によってしめされた出来事は過去のある時点で終了したことを表す。しかし一方で、未完了過去が使われた場合は過去のある時点で継続中のことや、まだ終了していない出来事を示す。

(27)El tren pasó el puente a las diez. 列車は10時に橋を通過した。

(28)El tren pasaba el puente a las diez. 列車は10時に橋を通過中だった/いつも通過するのだった。

(西川: 2009, p314 下線は筆者による)

この例は単純過去と未完了過去の用法の違いを顕著に表したものである。また、次の例のように単純過去は1度きりの行為を表すのに対し、未完了過去は過去の習慣的な行為を表す。

(29)Fui a una cafetería a charlar con mis amigas después de la clase. 私は授業の後友人たちとおしゃべりするためにカフェに行った。

(30)Iba a una cafetería a charlar con mis amigas después de la clase. 私は授業の後友人たちとおしゃべりするためにカフェに行ったものでした。

(29)の例では、友人とお喋りしたのは1回だけであったことが分かる。しかし(30)の例では、放課後にカフェでお喋りするのは習慣的であったことが示されている。

さらに特徴的な用法の違いは、単純過去によって示された出来事は、その後どうなったかという結果も示すことが多い。一方で、未完了過去が使われた場合、出来事の結果には焦点は置かずに状況説明をするだけで終わってしまうため、その出来事がどうなったのかは分からないままである。次の例を見てほしい。

(31) Tuve que entregar el informe. 私はレポートを提出しなければならなかった。

(32) Tenía que entregar el informe. 私はレポートを提出しなければならなかった。

(31)の例では、私はレポートを提出しなければならなかったという事実を聞き手に伝えており、聞き手は私が実際にレポートを提出したということを理解することができる。一方、(32)の例では、確かに私はレポートを提出しなければならなかったということが聞き手に伝わるものの、何か都合が悪くなって行けなくなったのかもしれないと解釈される可能性もある。なぜなら、実際に行ったのが行ってないのかはこの文だけでは判断することができないからである。

また、5.1.1 でも述べたように、未完了過去が用いられるような継続的な出来事や行為であったとしても、単純過去が使われる場合もある。それは、話者の心理的な状態によるもので、話者がある出来事を短期間で終了したと感じた場合や、現在とは関係ないと判断した場合は単純過去が用いられることもある。このことは次の例に示されている。

(33) Aprendí a tocar el violín en mi niñez. 私は子供の頃バイオリンを習った。

(34) Aprendía a tocar el violín en mi niñez. 私は子供の頃バイオリンを習っていた。

上記の例のように、本来ならば未完了過去が使われる場合に単純過去が使われるという場合もある。

最後に、物語のナレーションでは未完了過去が多く使われる。一方、ニュースでは単純過去を使うことによって事実を的確に伝えていくという手段が使われている。しかし、物語の場合もニュースの場合も、1つの過去形しか使わないということはありません、例えばニュースでは伝えられた事柄の背景は未完了過去を使って表現される。

これまで見たように、単純過去と未完了過去のどちらをどのタイミングで使い分けるかはとても難しく、発話者や著者の心理によってもどちらの過去形を使うかが変わってくるため、どのような場合にどちらの過去形を使うかというはっきりした区別をするには不十分である。動詞の意味内容や話者の心理と言った測り難い要因ではなく、目に見える言語表現に基づく識別がより有効であるという考えから、時の副詞との共起関係による分類を試みることにする。文に出てきた時の副詞を見れば、すぐにどちらの過去形を使えば良いか判断することもできるのではないかと。Alarcos(1982, p.25)によると、「単純過去は出来事が発話時を含まない時点で起こったことを示す副詞と共に用いられる」という。このように、時の副詞と2つの過去形との共起関係が同定できれば、単純過去と未完了過去の区別も明瞭になるのではないかと考える。そのため、次章からは本研究の目的である時の副詞を使って単純過去と未完了過去の使い方の区別をしていく。

## 6. 時の副詞の分類

時の副詞とは、それが存在することによって動詞の形態（単純過去を使うのか未完了過去を使うのか）や意味（「～した」「～したものだ」など）に影響を与えるもののことである。この時の副詞を使うことによって、単純過去と未完了過去の使い分けを区別して行こうというのが本稿の目的で

ある。本稿では過去形の分類を行うため、扱われる時の副詞も過去時制に関連するものである。García Fernández (1999)に沿って研究を進め、例文もそこから引用したものである(日本語訳は筆者<sup>3</sup>)。

まず、動詞のAspectに影響する時の副詞的補語は次のような4つに分類される。

\*CCAA=Complementos Adverbiales

#### 期間の副詞的補語

CCAA de duración

ayer, durante el verano, el año pasado など

#### 時の位置を表す副詞的補語

CCAA de localización

a las tres, en ese momento など

#### 局面の副詞的補語

CCAA de fase

ya, todavía, ya no, todavía no

#### 頻度の副詞的補語

CCAA de frecuencia

siempre, muchas veces, a veces など

García Fernández(1999; ,p.3134)

---

<sup>3</sup> ここで付けた日本語訳はあくまでも解釈の目安とするためのものであり、細かいニュアンスは文脈などにより異なることがある。また、日本語とスペイン語の動詞の時制の用法や相は必ずしも一致する訳ではないので、スペイン語で非文法的な文とされているものが、日本語では文法的に認められる文になっている場合もある。

局面の副詞的補語と 頻度の副詞的補語に関しては、単純過去と未完了過去を分類するために明確な基準と呼べるものがなく、文献によって時の副詞に分類される場合と分類されない場合があるため、本稿では取り扱わないこととする。

## 7. 期間の副詞的補語

期間の副詞的補語は動詞の出来事が継続する時間を測る。さらに次の 2 つのグループに分けられる。

- a. Cuantitativos 量的グループ: en...や durante...
- b. Delimitativos 限定的グループ: desde..., desde...hasta..., hasta..., de...a..., de ahora en adelante, a partir de..., entre...

a. 量的グループは出来事が始まってから終わるまでどれくらい続くかを示し、量を表す名詞句が後ろに続く。en...と durante...については 6.1 以下で詳しく見ていく。

(35) Mi primo subió las escaleras en tres minutos. 私のいとこは 3 分で階段を上った。

(35)の例では、いとこが階段を上るのにかかる時間を測っている。

b. 限定的グループは動詞の出来事の期間についての情報を与えるが、その出来事が始まる瞬間や終わる瞬間についての情報も与える。そのため、同じように出来事の始まりと終わりを視覚化させる単純過去と結びつきやすい。

(40) Carlos leyó el periódico hasta la hora de comer. カルロス は食事の時間まで新聞を読んでいた。

(40)の例では、hasta la hora de comer は leer に示された出来事が終わる瞬間を示している。

次からは en~と durante~ について見ていく。この2つの副詞的補語は、このグループに分類される副詞的補語が、単純過去と結びつきやすいということを解説するのに基準が分かりやすいため、ここで例として取り上げる。

#### 7.1 <en + 量の名詞句>によって形成される補語

この補語は2つの機能を持つ。つまり、期間を表す場合と時間の位置を表す場合である。

(41)

- a. Pintó la puerta en dos horas. 彼は2時間でドアにペンキを塗った。  
 b. En un par de horas te llamo y te cuento lo que ha pasado. 2時間ほど経ったら君に電話して何が起きたかを話すよ。

(41)a の en dos horas は pintar la puerta に費やす時間を測っている。一方で b の en un par de horas は llamar と contar に示された出来事が起こる時間的な位置<sup>4</sup>を示し、llamar と contar に費やされた時間ではない。つまり、ここでは出来事がいつ起こるのかを表しているのであって、どれくらいの時間がかかったのかを表しているわけではない。

次に、<en+量の名詞句>と時制の aspekt との関係について言及していく。<en+量の名詞句>は、出来事が始めから終わりまで発展するのにかかる時間を測る。従って、様々な aspekt がある中で、組み合わせるこ

<sup>4</sup> ただし、dentro de... と同義で用いられる en... のこの用法は RAE&ASALE (2005, p.213) では避けるべきだとされている。

とができる形式と組み合わさることができない形式がある。つまり、事柄の始まりも終わりもイメージさせない未完了過去とは結びつくことができず、始まりと終わりを必ず視覚化させる単純過去と結びつくことができる。実際に、もしアスペクトの様態が状況の最後を視覚化させるなら、<en+量の名詞句>という補語は現れるだろう。もしそうでなければ非文法的な結果になる。

(42)

- a. Ayer Juan tocó la sonata en veinte minutos. 昨日フアンは 20 分でソナタを弾いた。
- b. \*Ayer Juan tocaba la sonata en veinte minutos. 昨日フアンは 20 分でソナタを弾いていた。

(42)b の例文では、もし昨日起きた *tocar la sonata* という 1 度きりの出来事に関して述べるならば、未完了過去を使うことは非文法的である。未完了過去のアスペクトの特徴は状況の内側の部分を思い浮かべるだけであり、その始まりと終わりは思い浮かべない。もし<en+量の名詞句>と未完了過去が組み合わさった場合、出来事の範囲を限定する *en...* と範囲を限定しない未完了過去との間に矛盾が生じてしまう。つまり、未完了過去のアスペクトの特徴は、状況の終わりを明示する<en+量の名詞句>と両立しないということである。

一方で、<en+量の名詞句>は、述語が示す出来事に終わりがあることを前提とする。そのため、上記の例 a の文は完全に文法的である。単純過去の特徴は状況全てを視覚化させ、その始まりも終わりも明確なことである。そのため、<en+量の名詞句>と組み合わせることができる。従って、状況の始まりと終わりの間にある時間的距離を測る副詞的補語と組み合わせることにふさわしい種のアスペクトである。さらに山村(2004, p.124)によると、「ps.と共起した副詞句の解釈は ps.自体が持つ「当該事態の生起の表示」という機能と密接に関係したものになる」(ps.は単純過去を意味する)と

いう。つまり、単純過去と単純過去と共起した副詞的補語との間には深い関係があるということであり、両方とも出来事の始まりと終わりの視覚化という特徴を持っているということである。従ってこれらが組み合わさるということは妥当であると言える。

ここまでは <en+量の名詞句> が単純過去と組み合わさる基本的な例を見てきたが、次の例のように必ずしも単純過去と結びつく訳ではなく、未完了過去と結びつくケースも存在する。

(43)

- a. De pequeño, Juan tocaba la sonata en veinte minutos. 子供のころ、フアンは20分でソナタを弾いたものだった。
- b. En su juventud, María leía una novela en dos días. 若い時にマリアは1冊の小説を2日で読んだものでした。

(43)のaもbも、<en+量の名詞句>に導入された副詞的補語と組み合わされた未完了過去を使った例である。しかし、両方の文のどちらも、(42)aのように一度起きた出来事に関して述べているのではなく、ある期間において繰り返された出来事、つまり習慣的だった出来事に関して述べられている。García Fernández(1999, p.3142)によれば、文末に置かれたen...は小さい出来事(microevento)を修飾する傾向があるという。そして、en...が出来事の始めと終わりを示すので、tocar la sonata や leer una novela に示された行為は一度ずつ終わっているということが分かる。一方、二重下線部に示されている De pequeño と En su juventud という表現は、出来事の始まりと終わりを示さないので単純過去と共起することができない。García Fernández(*ibid.*)によれば、文頭に置かれる文副詞は文全体の大きな出来事(macroevento)を修飾するという。その記述に従えば、tocar la sonata en veinte minutos や leer una novela en dos días は一度ずつ起こった小さい出来事(microevento)が何度も起こった、つまり過去の習慣を表していると解釈することができる。従って、(43)a、b は共に非文法的であるということがで

きなくなる。

以上のことから、習慣的な解釈を除いて、この種の副詞的補語は未完了過去のアスペクトと両立できないが、単純過去のアスペクトとは完全に両立することができるまとめられる。

## 7.2 <durante+量の名詞句>によって形成される補語

durante によって導入される時制の表現は次の二つである。

<durante+限定の名詞句>

<durante+量の名詞句>

<durante+限定の名詞句>

durante...という補語の項は限定の名詞句であるとき、出来事の位置を示す補語としてふるまい、継続の長さを表す補語としてはふるまわない。次の例を見てみる。

(44)

- a. \*Juan llegó durante media hora. フアンは30分間に到着した。
- b. Juan llegó durante las Navidades. フアンはクリスマス期間に到着した。

(44)の例の場合、bが限定的である。aの副詞的補語 *durante media hora* は出来事の始まりと終わりの間の距離を測る。そのため、*llegó* のように時間に正確な述語と組み合わせられると、非文法的になる。それに比べてbでは、*durante las Navidades* はその出来事自体を含む期間を示す。従って、もし *durante las Navidades* に *todas* を加えたら、bではなくaのような量的名詞句になる。それは次の例に確認される。

(45)\*Juan llegó durante todas las Navidades. フアンは毎年のクリスマス期間に到着した。

<durante+量の名詞句>

<durante+量の名詞句>は、動詞で表される過程に継続性があるという条件で、前置詞なしで用いられる。

(46)

- a. Tuve hambre (durante) toda la noche. 私は夜の間ずっと空腹だった。
- b. Ayer trabajé (durante) tres horas. 昨日私は3時間働いた。

しかしもし継続性が主語や目的語の複数性から生じるのならば durante は省略できない。それは次の4つの例に確認できる。

(47)

- a. \*Envió flores varias horas. 彼は数時間(複数の)花を贈った。
- b. Envió flores durante varias horas. 彼は数時間の間に(複数の)花を贈った。

(48)

- a. \*Llegaron invitados varias horas. (複数の)招待客たちが数時間到着した。
- b. Llegaron invitados durante varias horas. (複数の)招待客たちが数時間の間に到着した。

これまで durante によって導入される補語が、量の名詞句と限定の名詞句に分けられること、<durante+量の名詞句>によって形成される補語がどのような動詞と組み合わせるのか、そしてその際の例外を見てきた。次からは durante と時制アスペクトとの関係について述べていく。durante に導入された補語は出来事の始まりと終わりの距離を測るということが明らかにされた。そのため、単純過去は完全に<durante+ 量の名詞句>と組み合わせることができると結論づけることができる。

(49)

- a. Juan amó a Salomé durante varios años. フアンは数年間サロメを愛した。  
 b. Aquella tarde María bailó vales durante dos horas. あの日の午後 MARIA は 2 時間ワルツを踊った。

(49)の両方の例において、durante に導入された補語は状況が始まった瞬間(つまり、ファンがサロメを愛し始めた瞬間と、MARIA がワルツを踊り始めた瞬間)と状況が終わった瞬間の間に存在する距離を測る。

一方、未完了過去は出来事の始まりの視覚化も終わりの視覚化も許さないので、過去の状況の 1 度きりの出来事に関して述べる時、<durante+ 量の名詞句>と両立することができない。

(50)

- a. \*Juan amaba a Salomé durante varios años. フアンは数年間サロメを愛していた。  
 b. \*Aquella tarde María bailaba vales durante dos horas. あの日の午後 MARIA は 2 時間ワルツを踊っていた。

しかし、(50)b は副詞的補語である *aquella tarde* を削除すると非文法的であるとは言えなくなる。というのも、*aquella tarde* がなければ過去の習慣としての解釈が可能になるからである。習慣を表すのは未完了過去のアスペクトの特徴的意義の一つである。

未完了過去は習慣の解釈が可能なときのみ、期間を表す補語と組み合わせることができる。このことは次の 2 つの例に見られるように、durante によって導入された補語の振る舞いを比較することにより証明することができる。

(51)

- a. De joven María bailaba vales todos los días durante dos horas. 若い頃マリ

アは毎日 2 時間ワルツを踊っていた。

b. \*Durante varios años Juan tocaba la sonata en veinte minutos. 数年の間にフアンは 20 分ソナタを弾いていた。

(51)a では、副詞的補語 *durante dos horas* は、María がワルツを踊る毎日ごとの始まりと終わりを測っている。つまり、María は若い頃から毎日 2 時間ワルツを踊っていた。そして、このワルツを毎日踊るという繰り返しは彼女の青春時代の間の習慣だったと言える。一方、(51)b では *durante varios años* は個別の毎回の出来事 1 つ 1 つを測ることは出来ない。なぜなら、数年の間 Juan はソナタを 20 分で弾いていたからである。更に、7.1 で述べたとおり、文頭に置かれた副詞的補語は出来事全体を修飾する傾向があり、一方で文末に置かれた副詞的補語は小さな出来事 (microevento) を修飾する傾向にある。このような条件も含めて、b の文は文法的であるとは言えなくなる。というのも、*durante varios años* は期間の副詞的補語と未完了アスペクトとの間の意味的非両立性のため、大きな出来事 (macroevento) を修飾することが出来ない。未完了過去のアスペクトは習慣の終わりには焦点を当てないため、副詞的補語 (この場合は *durante varios años*) によって視覚化されないということである。

#### 8. 時の位置を表す副詞的補語

時の位置を表す副詞的補語は動詞の出来事が位置する瞬間やそれを含む期間を示す。例えば、*hace tres años*, *ayer*, *la víspera*, *ahora*, *hoy*, *a las tres*, *en Navidad*, *en verano*, *en 1945* などである。

時の位置を表す副詞的補語は次のように下位分類される。

##### a. CCAA de marco または de intervalo

時の枠組を表す副詞的補語 : *ayer*, *el año pasado*, *esta semana*, *durante el verano*, *estos días*

##### b. CCAA de punto

時点を表す副詞的補語 : a las tres, en ese momento, a medianoche, dentro de poco, hace tres semanas

時の枠組を表す副詞的補語は動詞の出来事を含む時の期間を示す。例えば、Juan llegó ayer. であれば、ayer という枠組の中で llegó という出来事が起きたということである。一方で、時点の副詞的補語は期間に関しては述べず、出来事が位置する時間の正確な瞬間を示す。例えば、Juan llegó a las tres. であれば、llegó と a las tres が同時に起きたということである。

ここまで、García が時の副詞的補語を期間、時の位置、局面、頻度の 4 つのグループに分けたということを述べてきた。しかし、この分類では 1 つの語が複数のグループに跨ることがあり、どのグループに属しているのかが分かりにくい。例えば、García Fernández 自身も認めているように、ayer という語は期間の副詞的補語にも含まれるし時の枠組みの副詞的補語にも含まれる。さらに、en ~ という表現なども en の後ろに何がくるかによって分類されるグループが変わってきてしまう。そこで筆者は第 8 章で考察を交えながら、新たに時の副詞的補語を分類しようと試みる。

次に時の位置を表す副詞的補語と過去形の共起関係を見ていく。

### 8.1 時の位置を表す副詞的補語と単純過去または未完了過去との関係

これまでスペイン語の時制アスペクトの概念を示し、それに関する形式を見てきたが、いくつかの時の位置を表す副詞的補語は単純過去の起動の解釈を促す。この解釈では、副詞的補語は述語に示された出来事の始まりを示す。それは次の例に見られる。

(52)

- a. A las tres nos tocó nuestra canción preferida. 3 時に彼は私たちのお気に入りの歌を演奏してくれた。
- b. A medianoche hablé con él por teléfono. 真夜中に私は電話で彼と話した。

(52)a の例では、3 時に歌を演奏し始めたという起動の解釈が示されており、(52)b でも同様である。

一方、時の枠組の補語を使うと、単純過去の終わりを示す解釈が得られる。その解釈では、副詞的補語は動詞に示される出来事を含む期間を示す。例えば、La semana pasada le escribí dos cartas では、la semana pasada という時間の中に手紙を書いたという出来事が含まれている。このように、単純過去と組み合わせさせた場合、出来事全体が時の枠組みの補語に示された期間に含まれる。なぜなら、単純過去は出来事すべてに焦点を当てていて、始終がはっきりしているからである。一方で、過去の継続的な行為という未完了過去の用法により、出来事の範囲が副詞的補語の範囲を上回ることが可能になる。つまり、副詞的補語よりも、出来事の意味がより有利に解釈される。次の例にこの違いがみられる。

(53)

- a. Ayer Juan estuvo en Madrid. 昨日フアンはマドリードにいた。  
 b. Ayer Juan estaba en Madrid. 昨日フアンはマドリードにいた。

(53)の例文では一見、a が文法的で b が非文法的なように見える。しかし両方とも文法的であると解釈される。というのも、a では動詞によって示された出来事は <時の枠組を表す副詞的補語>である ayer に含まれる。そのため、出来事の始まりと終わりが明らかになり、単純過去と結びついたということである。一方、b は ayer + 未完了過去という組み合わせではあるものの、未完了過去の「過去の状況を表す」という意味相の解釈が ayer で示された時の枠組の範囲よりも優先して解釈されるため、必ずしも非文法的であるとは言えない。従って、b では、Juan はマドリードに発話の瞬間まで滞在していたかもしれない。一方、a では発話の瞬間まで滞在していた可能性はあり得ない。もし Juan が発話の瞬間にマドリードにいたとしたら、1 度どこかに移動した後で再びマドリードに戻ったということにな

る。García Fernández (1999)は時の副詞的補語と過去形の共起関係を以上のように述べているが、時の副詞的補語は単純過去と必ず組み合わせるのか、時の副詞的補語は習慣の解釈を除く未完了過去と共起することはできないのかということが事実であるかどうかには言及していない。そのため、実際にデータを集めて分布を確認し、これまでに述べられてきたことが事実であるのかを確認していく必要がある。次の第8章では、García Fernándezの主張だけでなく、意味相と形態相という面からも合わせて時の副詞的補語と過去形の関係を見ていく。

## 9. データと分析

本稿で使用するものは EL PAÍS の 2011 年 4 月に発行された一か月分からランダムに一週間分選んだものである (8、9、12、14、18、22、25 日)。以下の例文は全て EL PAÍS からの引用である (下線は筆者による)。本稿では、意味の完結・非完結を次のように定義する。

完結相...ある動作が完結に至らなければ意味が成り立たないもの。

例；開ける、死ぬ、壊す、落ちる

非完結相...ある行為がどこで終了しても意味が変わらないもの。

例；歩く、走る、揺れる

また、この2つを分類する際に畠山(2008)と工藤(2009)も参照した。

そして、意味相と形態相の組み合わせには以下のものがある。4.3 からそれぞれのペアには次のような基本的な使い分けがあると仮定できる。

完結相 + 単純過去

過去に終了した出来事を表す

完結相 + 未完了過去

動詞が一瞬で終わるようなものである場合(起動相や瞬時相と呼ばれる)

「～しようとしていた」

瞬間を表さない動詞の場合（言う、置くなど）「～していた」  
過去の状況説明、習慣「～していた」、「～したものだ」

非完結相 + 単純過去

過去に終了した出来事を表す

非完結相 + 未完了過去

過去の状況説明

考察の前に全体の数を示しておく。過去形が使われている文は一週間分で1253例あり、その内、時の副詞的補語が付いているものは225例で付いていないものは1028例である。次の表に意味の完結・非完結、単純過去・未完了過去の組み合わせの例を示す。

時の副詞的補語あり

	単純過去	未完了過去
完結相	159	8
非完結相	38	20

時の副詞的補語なし

	単純過去	未完了過去
完結相	666	52
非完結相	165	145

ではデータを検討・考察していく。まずは時の副詞的補語のない完結相 + 単純過去の例である。この組み合わせは今回のデータ分析作業の中で最も多く見られた組み合わせである。5.3 で、ニュースには単純過去が使われやすいと述べたが、今回の研究対象である新聞も、ニュースを伝える媒体であるということが関係しているからだろう。また、下記に挙げた例文は今回研究対象となった例文全てではないが、同じ動詞や同じ組み合わせが繰り返し出てくるので、それらはなるべく避けて例を挙げていく。

. 時の副詞的補語なし、完結相 + 単純過去

1.El temblor rompió varias líneas de suministro eléctrico de la central atómica de Onagawa, al norte de Sendai, que está cerrada desde el tsunami.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

2.El acuerdo representa la más decisiva acción hacia América Latina emprendida por Obama desde que llegó a la presidencia.

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

3.“Se trata de una victoria tanto para Colombia como para Estados Unidos”, declaró Obama...

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

4.“Después de cinco años, hemos obtenido, por fin, luz verde para el TLC”, manifestó Santos.

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

5.Al menos tres personas murieron y 14 resultaron heridas a consecuencia del fuego israelí, según fuentes médicas palestinas.

(viernes 8 de abril de 2011, p.10)

6. Los ataques del Ejército israelí se produjeron sobre todo en el norte y el sur de la Franja y al este de la ciudad de Gaza, explicó un residente local.

(sábado 9 de abril de 2011, p.12)

7. Rechazó la reciente intervención de Francia en Costa de Marfil (“Sarkozy había prometido que un francés no dispararía nunca más contra un africano, ¿y ahora?”) y mantuvo sus reservas ante la de Libia (“En Libia sí y en Siria no. ¿Por qué?”).

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

8. Lo que es cierto es que desde que empezaron a concederse estos papeles, para los jóvenes inmigrantes se abrió una esperanza y muchos se han aproximado a la frontera en Ventimiglia.

(lunes 18 de abril de 2011, p.3)

9. Aquel largometraje consiguió el primero del jurado al mejor documental en el Festival de Sundance y fue candidato a un Oscar.

(viernes 22 de abril de 2011, p.4)

以上に示してきたものが完結相 + 単純過去という組み合わせである。今回使用した新聞では、このように単純過去によって完結相 + 単純過去示された例が多く見られた。

次は非完結相 + 単純過去の組み合わせであるが、この組み合わせの例は完結相 + 単純過去の例の約 1/4 しか現れなかった。

・ 時の副詞的補語なし、非完結相 + 単純過去

10. Los que marcharon con él por las calles de Cuernavaca tuvieron la sensación de que la historia se repite.

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

11. Al conductor dubitativo le siguió otro atolondrado.

(jueves 14 de abril de 2011, p.2)

12. Rechazó la reciente intervención de Francia en Costa de Marfil (“Sarkozy había prometido que un francés no dispararía nunca más contra un africano, ¿y ahora?”) y mantuvo sus reservas ante la de Libia (“En Libia sí y en Siria no. ¿Por qué?”).

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

13. Guy Martin quedó en estado grave, con heridas en el brazo.

(viernes 22 de abril de 2011, p.4)

14. Micael Chistopher Brown sufrió heridas por metralla en el hombro y se encuentra también estable.

(viernes 22 de abril de 2011, p.4)

15. Importantes bases militares radican en esta localidad, a la que el líder de la revolución que derrocó al rey Idris en 1969 consideró convertir en capital de Libia y que se ha mantenido al margen de la contienda, si se exceptúan los ataques que la OTAN ha ejecutado en sus inmediaciones.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

16. Su padre, Ali Omar Milad, se hundió varias jornadas en el desasosiego.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

17. En Marraquech, medio millar de personas secundadron la convocatoria en pro de reformas políticas.

(lunes 25 de abril de 2011, p.5)

18.En Tánger, fueron unos dos mil los participantes, que también criticaron la gestión del alcalde de la ciudad y pidieron su renuncia.

(lunes 25 de abril de 2011, p.5)

以上が主な例である。3.3 で示されたように、単純過去を使って示された出来事は過去の事実を伝えるのみであり、現在とは関わりを持たない。非完結相の動詞が使用されているため単純過去と組み合わさった場合に矛盾が生じるが、これらの例は新聞から取り出したものであり、過去に既に終了したことなので単純過去が使われている。つまり、意味相よりも形態相が優先されていると考えられる。

次からの例は完結相 + 未完了過去の組み合わせである。

・ 時の副詞的補語なし、完結相 + 未完了過去

19.Los brasileños tenían noticia de matanzas perpetradas en escuelas solo a través de las crónicas del exterior.

(viernes 8 de abril de 2011, p.5)

この例では、未完了過去が過去の状況を説明しているため、形態相が完結相の動詞 tener の意味相を上回っていると考えられる。

20.“Nuestra legitimidad procede del pueblo yemení, no de Catar o de otros”, subrayó antes de insistir varias veces en que rechazaba la injerencia.

(sábado 9 de abril de 2011, p.3)

この例文では insistir は過去時制になっていないものの、insistir に示された出来事が過去に行われたことが文脈から分かる。そのため、rechazar は完結相であるが、出来事が起きた過去の時点を基準点としているため、en que 以下も未完了過去が使われている。

21. “Desde por la mañana informamos de que 20 tanques partían de Bengasi a Brega”, añadió Yunes.

(sábado 9 de abril de 2011, p.5)

partir は主節の時制を基準時とした相対時制である。従って未完了過去が使われている。

22.La réplica ha llevado aún más inquietud a una población que apenas comenzaba a recuperarse del desastre del mes pasado, en el que murieron o están desaparecidas más de 27.000 personas.

(sábado 9 de abril de 2011, p.8)

una población がどのような状態であることを説明するために未完了過去が使われている。また、comenzaba a recuperarse は「～しようとしていた」という解釈をすることができる。起動相ではない recuperarse を「～しようとしていた」と解釈するためには、ir a と同じような意味を持つ comenzar a が必要ということである。

23.Resultaba difícil imaginar que la fiscalía pudiera llevar hasta el final sus acusaciones contra Mubarak, dado que la cúpula militar que asumió el poder el 11 de febrero es tan corrupta como el antiguo rais y, como él, practica con suma liberalidad las detenciones arbitrarias y las torturas.

(jueves 14 de abril de 2011, p.5)

resultar は完結相の動詞だが、この例では過去の事柄がどのようなものであったかという説明をしている。意味相よりも形態相が優先して解釈される。

24.Empatados en porcentaje de votos con los Auténticos Finlandeses, los Socialdemócratas, actualmente en la oposición y también contrarios al rescate europeo a Portugal aunque con una posición más matizada, alcanzaban el segundo lugar, con el 19,1%.

(lunes 18 de abril de 2011, p.4)

過去の出来事の状況を説明している。alcanzar は完結相だが未完了過去で使われている。また、この例文での alcanzar は 3.3 で見た llegar のように瞬時相であるので、ir a のような語を使わなくてもそれだけで「～しようとしていた」と解釈することができる。

25.Los resultados provisionales dejaban a la actual coalición de gobierno en minoría y apuntaban a un escenario político de complicada gobernabilidad en Finlandia.

(lunes 18 de abril de 2011, p.4)

非完結相である dejar と共に、未完了過去で過去の出来事を説明している。

26.El bochorno ha sido mayúsculo, porque el mismo ministerio, que ayer aseguró en un comunicado que “nos tomamos muy en serio la seguridad nuclear”, se mostraba asimismo “agradecido a los perodistas que nos han llamado la atención sobre el asunto.

(lunes 18 de abril de 2011, p.4)

mostrar という動詞は今回の考察では単純過去として使われることが多かったが、この例のように未完了過去として使われることで過去の状況を説明することもある。

27.Los propios organizadores admitían esperar nuevos tiroteos y nuevos víctimas mortales.

(viernes 22 de abril de 2011, p.2)

完結相の動詞を未完了過去で使うことで過去の状況を説明している。

28.El diario británico *Financial Times* publicaba en su portada del jueves una de las últimas imágenes de Hondros.

(viernes 22 de abril de 2011, p.4)

「出版する」や「発行する」のような行為は通常一度きりだが、この例で

は未完了過去を用いて表されている。この28の文の1つ前の文は、ある出版社がある2人の人物を称賛しているという内容である。そしてその賞賛している場所は新聞の一面で、その新聞の一面に載っていたということ状況を説明するためにここでは未完了過去が使われていると考えられる。

29. También el general Ali Mohsen está tomando posiciones al otro lado de la ciudad, explicaba la fuente, que tiene experiencia militar.

(Lunes 25 de abril de 2011, p.2)

過去にどういう状況であったかということ、未完了過去を使って述べている。

30. Aunque raramente conseguían ser la única voz audible.

(Lunes 25 de abril de 2011, p.4)

conseguirのように、出来事が一度きりで終わってしまうような動詞は単純過去で使われることが多いが、この例のように過去に起きた状況を述べるときは未完了過去で使われることもあるということが分かる。

ここまでが完結相 + 未完了過去の組み合わせの例である。このグループで使われている動詞は、今回のデータの中では単純過去として使われることが多かった。完結相の動詞が未完了過去で用いられた場合、特に23、25～30のように意味相よりも形態相が優先されると考えられる。また、「～しようとしていた」という解釈を完結相 + 未完了過去という組み合わせを使って表現することができ、ir aの他に comenzar a という表現も「～しようとしていた」と解釈できることが分かった。

・時の副詞的補語なし、非完結相 + 未完了過去

非完結相の動詞は未完了過去として使われ状況描写をすることが多いため、ここでは特筆すべき特徴を持つ文についてのみ考察を入れた。

31. El Departamento de Estado norteamericano afirmó que la “injustificada”

expulsión de su embajadora en Quito no dejaba “otra opción que adoptar una acción recíproca”.

(viernes 8 de abril de 2011, p.4)

主節の時制を基準とした場合、afirmar が過去形であるため、dejar も過去形である未完了過去になっている。

32.Su hermana admitió que el joven “solía hablar de cosas de musulmanes” y que casi no salía de su casa.

(sábado 9 de abril de 2011, p.9)

soler は習慣を表す動詞であるため、過去の事柄を述べるときは常に未完了過去で使われる。

33.Esta vez, es la comprobación de que, como se temía, Barack Obama va a tener casi imposible aprobar iniciativas de importancia en el actual.

(sábado 9 de abril de 2011, p.10)

34.Según Tepco, cuando retomó la inyección de agua dulce los cuatro reactores más afectados seguían estables.

(martes 12 de abril de 2011, p.3)

35.Vestía su polo rojo y sus prolijos vaqueros, y mantenía un aire marcial.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

36.Pero el respaldo político a los rebeldes no se tradujo en un compromiso para facilitarles las armas que les ayudarían a defenderse, como reclamaba Shaman.

(jueves 14 de abril de 2011, p.2)

37.Un duro golpe para el país que se consideraba el padre de la robótica.

(viernes 22 de abril de 2011, p.9)

38. Pero todo ello es insuficiente sin disponer de un armamento similar al que almacena el Ejército de Gadafi, que tampoco avanza a las puertas de Cirenaica porque los cazabombarderos de la OTAN ya han destrozado varias columnas de blindados cuando se aproximaban a Bengasi.

(viernes 22 de abril de 2011, p.4)

39. El bombardeo se produjo en plena celebración por una retirada de las tropas que no fue completa - ya sospechaban los rebeldes libios que Muamar el Gadafi no iba a aflojar el cerco sobre Misrata - .

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

非完結相 + 未完了過去の場合、「～しようとしていた」という解釈をするならば、何か他の語を補わなければならないということを 4.3 で述べた。この例では、非完結相の aflojar という動詞を iba a と組み合わせることによって「～しようとしていた」と表現している。

40. Tras haberse presentado como quien iba a dar una conferencia, entró en dos clases y mató a 10 niñas y un niño, todos ellos entre los 9 y los 12 años.

(viernes 8 de abril de 2011, p.5)

この例文も 39 と同様に、非完結相の dar を ir a を使って「～しようとしていた」と表現している。

ここに載せていない例文も含めて、このグループに分類されるものは、5.2.1 で示したような始まりと終わりが見えない出来事に関する状況説明や描写が多く、未完了過去なのに単純過去の用法が使われるというような例外も特に見当たらなかった。非完結相も未完了過去も出来事の始まりと終わりを視覚化させないという点で解釈が一致しているため、例外なく組み合わせたりやすかったと考えられる。

・ 時の副詞的補語あり、完結相 + 単純過去

41. Las alarmas volvieron a saltar ayer en Japón.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

単純過去 + 時の位置を表す副詞的補語の組み合わせである。ayer という時の位置で volver という出来事が起きた。出来事の始まりと終わりが見えるので単純過去が使われている。

42. Barack Obama y el presidente de Colombia, Juan Manuel Santos, anunciaron ayer un acuerdo para ratificar rápidamente en el Congreso el largamente esperado Tratado de Libre Comercio...

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

anunciar によって示された出来事が ayer によって視覚化されているため、単純過去が使われている。単純過去 + 時の位置を表す副詞的補語の解釈に当てはまるため、この例文は文法的であると考えられる。

43. Hasta ayer por la mañana, cuando a las 8.30 un joven de 23 años, Wellington Menezes de Oliverira, entró con dos pistolas en la escuela municipal Tasso da Silveira de la localidad de Realengo, al oeste de Río de Janeiro, donde había estudiado.

(viernes 8 de abril de 2011, p.5)

a las 8.30 と entró に示された出来事は同時に起きたことが分かる。そのため、単純過去 + 時の位置を表す時の副詞的補語の解釈に当てはまる。

44. Antes de dirigirse al colegio Menezes quemó su ordenador y destruyó su casa, que dona a una institución de cuidado de animales abandonados.

(sábado 9 de abril de 2011, p.9)

第 5 章で、antes de... は時の副詞的補語の分類に含まれていないものの、出来事の始まりを視覚化させることができるため、期間を表す副詞的補語に分類できると考えられる。

45. Aunque Ollanta nació en Lima en 1962, la familia es de Ayacucho.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

この文では en 1962 という期間の副詞的補語に示された時の中で nacer と  
いう出来事が起きたため単純過去が使われている。

46. Allí se libró la última batalla por las independencias latinoamericanas en 1842  
y desde allí Cáceres inició la ofensiva contra las tropas chilenas.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

期間の副詞的補語の en 1842 の中で se libró に示された出来事が起きた。ま  
た、限定的な期間を表す desde allí の allí は 1842 年を示している。そのた  
め出来事の始まりが視覚化され、こちらも単純過去と組み合わせられている。

47. A finales de 2009, cambió un billete a Caracas por otro a Brasilia.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

時点を表す副詞的補語である A finales de 2009 と cambiar に示された出来事  
は同時に起きたことが分かる。

48. Entre 1996 y 1997 fue director de la oficina del primer ministro Benjamín  
Netanyahu, pero en 1999 rompió con el Likud y fundió Yisrael Beitenu (Israel es  
nuestra casa), un partido ultranacionalista y arabófobo cuyo electorado consistía  
básicamente en los 700.000 inmigrantes judíos llegados desde la antigua URSS en  
los noventa.

(jueves 14 de abril de 2011, p.5)

Entre 1996 y 1997 + fue も en 1999 + rompió ... y fundió も単純過去 + 期間を  
表す副詞的補語という組み合わせである。そして、fue、rompió、fundió は  
完結相である。それぞれ期副詞的補語に示されたと期間の中で出来事が起  
きているため、単純過去 + 期間を表す副詞的補語の解釈に当てはまる。

49. Troadec aclaró hace unos días que la BEA ya examinó este sitio, en junio de 2009, días después del accidente, sin éxito.

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

期間を表す副詞的補語である hace unos días + 単純過去という典型的な例である。

50. La primera llegó entre 35 y 45 minutos después del terremoto.

(lunes 18 de abril de 2011, p.7)

期間を表す副詞的補語 entre 35 y 45 minutos + 単純過去という組み合わせである。

51. La madrugada del domingo añadió Kaim que el Ejército no abandonab la ciudad y que tan solo detendría sus operaciones militares.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

La madrugada del domingo は、時の位置を表す副詞的補語に分類できる。というのも、añadir に示された出来事は La madrugada del domingo があることによつて、始まりと終わりを視覚化することができる。従つて、単純過去 + 時の位置を表す副詞的補語の解釈に当てはめることができる。

52. Kaim amenazó ayer a los sublevados.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

昨日という時の位置を表す副詞的補語の中で amenazar に示された出来事が起きた。単純過去 + 時の位置を表す副詞的補語の解釈に当てはめることができる。

ここまで時を表す副詞的補語 + 完結相、単純過去という組み合わせを見てきたが、時を表す副詞的補語がある場合の例全体の中で最も数が多かった。というのも、時を表す副詞的補語も単純過去も出来事の始まりと終わりが明確であるため、結びつきやすいからであると考えられる。

次は動詞の意味相が非完結相だった場合の例を見ていく。

・時の副詞的補語あり、非完結相 + 単純過去

53.El hotel en el que estaba este corresponsal, en la décima planta, crujió y se balanceó durante un minuto que pareció eterno.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

crujir も balancear も非完結相の動詞である。しかし、durante un minuto という期間の副詞的補語と組み合わせることによって出来事の始まりと終わりが視覚化されている。従って、単純過去になっている。

54.La empresa advirtió el miércoles pasado de que el hidrógeno se está acumulando en los reactores, lo que podría provocar explosiones similares a las que ocurrieron en la planta en los primeros días del desastre, y ayer comenzó a inyectar nitrógeno en la vasija de contención del reactor, con objeto de desplazar al oxígeno.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

この例は非完結相 + 時の位置を表す副詞的補語という組み合わせである。しかし上の例同様、el miércoles pasado があることによって出来事の始まりと終わりが明確になっている。

55.Sobre una caminoneta desvencijada, firmemente apoyado en su dolor, el poeta Javier Sicilia sacudió la tarde del jueves el alma de México al plantear un dilema tremendo que él acaba de sufrir en carne propia.

(viernes 8 de abril de 2011, p.4)

この例は、非完結相 + 時の枠組みを表す副詞的補語の組み合わせである。木曜日の午後という枠組の中で既に終了したこととして示されているため、単純過去で表されている。

56. Mubarak, de 82 años, ya fue sometido a un primer interrogatorio el martes.

Durante el mismo sufrió una crisis nerviosa y fue trasladado a un hospital de Sharm el Sheij, la localidad del mar Rojo a la que se retiró tras la dimisión.

(jueves 14 de abril de 2011, p.4)

期間の副詞的補語 + 単純過去の例である。Durante el mismo の el mismo は el primer interrogatorio を示している。sufrir 「苦しむ」という継続的な行為が durante ~ によって期間を限定されているため、単純過去が使われている。

57. Al día siguiente, 14 de enero, huyó del país.

(jueves 14 de abril de 2011, p.6)

huir 「逃げる」という行為は通常継続的であるが、Al día siguiente と 14 de enero という時の位置を表す副詞的補語があり、出来事の終わりが明確になったため単純過去が使われている。

58. Potenes submarinos equipados con receptores especializados peinaron la zona durante más de 40 días (incluyendo el área en cuestión en la que han aparecido ahora los restos), en busca del sonido.

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

durante という限定的な期間の中で peinar に示された行為が終了した。

59. El presidente cubano, de 79 años, dejó claro desde el inicio que los cambios se hacen para “preservar” el socialismo, no para destruirlo.

(lunes 18 de abril de 2011, p.9)

desde el inicio があることで始まりがはっきりとしている。そのため、単純過去が使われた。

60. El bombardeo indiscriminado continuó ayer inclemente, y los proyectiles impactaron en el centro y en los barrios residenciales de esta población de 300.300 vecinos, la tercera más habitada de Libia.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

continuar は長く続くような行為を表すと思われるが、ayer があることによってその行為の長さが限定されたため単純過去を使っている。

ここまでが時の副詞的補語 + 非完結相の単純過去という組み合わせである。ここに示してきた例を見る限り、非完結相の動詞が示す行為の長さが時の副詞によって限定され、従って単純過去が使われるというパターンがあることが分かった。と から、意味の完結・非完結よりも形態や時の副詞的補語の影響の方が強いことが分かる。

次からは時の副詞的補語 + 未完了過去を使った例である。

・ 時の副詞的補語あり、完結相 + 未完了過去

61. Vecinos de Misrata 200 kilómetros al oeste de Trípoli, y la única población del occidente libio que no se ha rendido a las tropas del dictador aseguraban ayer lo que otros residentes heridos destacaban el domingo cuando hicieron escala en Bengasi rumbo a Turquía.

(viernes 8 de abril de 2011, p.6)

完結相の動詞 asegurar と時の位置を表す副詞的補語という組み合わせである。しかし単純過去は使われておらず、未完了過去を用いることで過去の状況を表していると分析できる。この例を見た場合、意味の完結、時の副詞的補語よりも未完了過去という形態相が優先されていると考えられる。

62. *The New York Times* aseguraba el pasado lunes que Washington ha “concluido que es improbable que [el presidente yemení] lleva a cabo las reformas necesarias, por lo que debe facilitarse su salida”.

(sábado 9 de abril de 2011, p.3)

61 の例と同じように asegurar という動詞が使われている。el pasado lunes は時の位置を表す副詞的補語であるが、この例でも未完了過去という形態相が最も優先されている。

63.Sin embargo, en sus declaraciones públicas, los portavoces del Foro Común, el paraguas que agrupa a los partidos opositores, rechazaban hasta ahora el plazo de 30 días y las garantías de inmunidad.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

hasta ahora という限定的な期間を超えて未完了過去が使われている。単純過去よりも、過去の状況を表すという未完了過去の役割を優先している。

64.Sin embargo, en la rebautizada como plaza del Cambio de Saná independentistas sureños, simpatizantes huthis y soldados que hasta hace un mes se enfrentaban a ellos, han unido sus voces contra el cuestionado presidente, Ali Abdalá Saleh.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

enfrentarse が使われている節は主節の説明をしている。過去の出来事であるため過去時制が使われているが、この例でも時の副詞的補語の制限を未完了過去が上回っている。

65.Londres cree que los disidentes republicanos tienen ya infraestructura para atender no solo en Irlanda sino en la isla de Gran Bretaña, según aseguraba ayer el diario londinense The Observer.

(lunes 25 de abril de 2011, p.8)

この例も、asegurar が時の位置を表す副詞的補語である ayer の範囲を上回っている。

時の副詞的補語ありの完結相 + 未完了過去という組み合わせは今回のデータの中で最も少なかった。このことは、そもそも時の副詞的補語がなくても完結相 + 未完了過去という組み合わせは少なく、そこに出来事の始まりと終わりを指定する時の副詞的補語が加わることによって、さらにこの組み合わせを使用できる文に制限ができたと考えられる。また、未完了過

去と時の副詞的補語と一緒に現れた場合、未完了過去という形態相の持つ意味が優位に解釈されるということが分かった。つまり、第7節で示されたように、未完了過去の過去の状況を表すという特徴的な解釈が時の副詞的補語よりも優先されるということである。

最後に、時の副詞的補語 + 非完結相の未完了過去という組み合わせを見ていく。

・ 時の副詞的補語あり、非完結相 + 未完了過去

66. Su otro gran aliado, Estados Unidos, que hasta ahora consideraba a Saleh un aliado indispensable en la lucha contra Al Qaeda, también ha empezado a tomar distancias.

(sábado 9 de abril de 2011, p.3)

「考えていた」という行為が hasta ahora によって終了したということが示されている。hasta ahora は出来事の終わりを示す期間の副詞的補語だが、非完結相の considerar を未完了過去で用いることによって、その時点まで維持していた過去の状況を説明していると考えられる。

67. “Hasta el jueves no teníamos información de que la oposición contara con tanques”, replicó Harding desde Nápoles, informa Reuters.

(sábado 9 de abril de 2011, p.5)

Hasta el jueves という時の副詞的補語は期間を示している。木曜日に「持っていない」という状況が終了したため hasta... と共起しているが、非完結相の tener を未完了過去で用いることで木曜日まではその状況が続いたということを説明していると考えられる。

68. Más de medio millón de hogares seguían anoche sin suministro eléctrico en el noreste de Japón.

(sábado 9 de abril de 2011, p.8)

anoche は時の位置を表す副詞的補語である。しかし 66、67、69 とは異なる

り出来事の終了点は示されず、この例文では *anoche* の間ずっと *seguir* という行為が続けられていたと分析できる。7.1 で述べたように、未完了過去の「過去の状況を表す」という解釈が *ayer* や *anoche* のような時の位置を表す副詞的補語よりも優先して解釈されることもあるため、この例文では未完了過去が使われていると考えられる。この点では 61. の *ayer + asegura* のような例と同じように解釈できると判断できる。

69. Era la primera vez que Francia, que hasta ese momento contemplaba el conflicto de su excolonia desde la barrera, se implicaba - bajo auspicio de la ONU - con disparos reales en la guerra civil que se libraba en la capital económica del país africano.

(martes 12 de abril de 2011, p.6)

期間を表す副詞的補語である *hasta ese momento* まで *contemplar* に示された状況が続いていた。*hasta...*があることで出来事の終わりがはっきりしているが、非完結相の *contemplar* を未完了過去で用いているのでその時点まで持続していた過去の状況を説明していると分析できる。

70. Simultáneamente al coro de voces de los ministros de Exteriores de Reino Unido, Italia y Estados Unidos, que exigían ayer a Muamar el Gadafi que renuncie al poder, una delegación de la Unión Africana se esforzaba por arrancar a los rebeldes libios un acuerdo de alto el fuego.

(martes 12 de abril de 2011, p.8)

68 の例と同様に、*exigir* に示された出来事は *ayer* によっていつ起きたかという時の位置が表されているが、非完結相と未完了過去が使われる事によって過去の状況を表していると考えられる。

71. Olvidando por supuesto que eran antes que nadie los electores marfileños quienes querían deshacerse de un presidente que reinaba desde hacía más de

cinco años sin mandato.

(lunes 18 de abril de 2011, p.10)

66、67、69 は出来事の終わりがはっきりしていたが、この例では始まりが明確になっている。とはいえ、非完結相の動詞が未完了過去で使われたことでその時点から持続する過去の状況を表している。過去の状況の解釈が期間を表す副詞的補語である desde hacía más de cinco años よりも優先されている事に変わりはない。

72. De igual modo, durante la última visita de esta corresponsal a Saná, el pasado febrero, todos los portavoces de la oposición mencionaban que había que incluir a los huthis del Norte en cualquier negociación para el futuro pos-Saleh.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

durante は期間を表す副詞的補語に分類されている。しかし、未完了過去の過去の状況を説明するという解釈が時の副詞的補語よりも優先されている。

非完結相の動詞は未完了過去で使われることが多いが、と合わせて考えると、未完了過去を使用する際に動詞の意味の完結・非完結はあまり重要ではないように思われる。また、時の副詞的補語と組み合わせた場合も、その制限を超えて未完了過去の「過去の状況を表す」という解釈が最も優先されると考えられる。

### 9.1 時の副詞的補語の再分類

ここでは、上記のデータに基づいて、時の副詞的補語をより簡潔な形で提示できるようその再分類を試みる。García Fernández (1999)の分類では、ayer や en... は上記2つのグループの両方に分類されていた。また、それら2つの副詞的補語はそれぞれさらに量的・限定的、時の位置・枠組みのように下位分類されている。しかし筆者は過去形との共起関係を問題とする場合には、下位分類をせずに、「期間を表す副詞的補語」と「時の位置を表す副詞的補語」の2つの分類だけで十分であると考え。というのもまず、

期間を表す副詞的補語に分類されるものは量的であれ限定的であれ、時を表していると分かる表現が前置詞の後に続けば、始まりや終わりがはっきりするので、下位分類をせずとも期間を表しているということが一目で分かる。このことは、例えばデータ分析の 53 と 72 に使われている期間を表す副詞的補語を比較すると分かる。53 の *durante un minuto* は量的で、72 の *durante la última visita de esta corresponsal a Saná, el pasado febrero* は限定的であり、どちらも *durante* を使った副詞的補語である。もしこれら 2 つの副詞的補語から量的や限定的という解釈を取り除いたとしても、期間を表しているということは十分理解することができるだろう。下位分類をすることで複雑さが増し、余計な混乱を招くことを防ぐためにも、García Fernández が示した下位分類は必要ないと考える。時の位置を表す副詞的補語に関しても同様で、以下に述べるような理由によって、*ayer* や *a las tres* のような表現が枠組みを表していても時点を表していても時の位置を表しているということに変わりはないと筆者は考える。そのため、時の位置を表す副詞的補語も下位分類は必要ないと判断した。その理由を示すために 8.1 で示されている時の位置を表す副詞的補語から、43 の *a las 8.30* と 54 の *el miércoles pasado* を例に挙げよう。García Fernández の分類に従うと 43 が時点の副詞的補語で 54 が時の枠組みの副詞的補語である。しかし期間を表す副詞的補語と同様に、時点であろうが枠組みであろうが、時の位置を表していることに変わりはない。その証拠に、43 と 54 の例文の中でも *a las 8.30* と *el miércoles pasado* を入れ替えたとしても、出来事がいつ起きたかという時の位置を理解することができる。

また、新しく時の副詞的補語を再分類しようと試みるのは、先に述べたように、García Fernández の分類では 1 つの語が 2 つのグループに分類されている場合があるためである。例えば *en...* を例に挙げると、García Fernández は *en cinco minutos* のような表現を期間の副詞的補語に分類し、*en 2000* のようなものは時の位置を表す副詞的補語に分類している。しかし、*en* の後ろに続く語が *cinco minutos* であっても *2000* であっても、時間の長短はあるが、期間を表していることに変わりはない。*en cinco minutos*

では5分後に行為が完了し、en 2000では1年の間のどこかの時点で行為が終了しているという違いはあるが、どちらの場合も出来事の終わりがはっきりしていることは確かである。例えばデータ分析の45や48をGarcía Fernándezが示した(35)や(42)の例と比べてみても、単純過去と共起しやすという点に大きな影響はないように思われる。一方、再分類ではayerを代表とする時の副詞は期間ではなく時の位置を表す副詞的補語に分類した。その理由は、前置詞がなくても副詞自体が時の位置を表すことができ、期間というよりも出来事がいつ起きたかという位置を表していると解釈できるからである。ayerを例にすれば、出来事の長さを表しているというよりも、昨日、今日、明日のような出来事の位置を表していると言った方が相応しいと考えられる。このことは9.データと分析の41、42、60、61、65、70に現れている。もしayerが期間を表す副詞的補語であるならば、出来事の始まりや終わりを示すはずだが、これらの例は出来事の期間ではなくいつ起きたかという位置をしめしている。41ではvolverに示された出来事はayerという位置で起きているし、61では未完了過去として使われたasegurarはayerという時の位置でayerと並行して起きていたと考えられる。そのため、このような語は期間ではなく時の位置を表す副詞的補語に分類する方が適していると考えた。

従って、下位分類はせずに期間を表す副詞的補語と時の位置を表す副詞的補語の2つのみに分けることを提案し、以下でデータを並べなおして分析していく。

#### 期間を表す副詞的補語

45 .Aunque Ollanta nació en Lima en 1962, la familia es de Ayacucho.  
(martes 12 de abril de 2011, p.5)

48 .Entre 1996 y 1997 fue director de la oficina del primer ministro Benjamín Netanyahu, pero en 1999 rompió con el Likud y fundió Yisrael Beitenu (Israel es nuestra casa), un partido ultranacionalista y arabófobo cuyo electorado consistía

básicametne en los 700.000 inmigrantes judíos llegados desde la antigua URSS en los noventa.

(jueves 14 de abril de 2011, p.5)

46 .Allí se libró la última batalla por las independencias latinoamericanas en 1842 y desde allí Cáceres inició la ofensiva contra las tropas chilenas.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

59 .El presidente cubano, de 79 años, dejó claro desde el inicio que los cambios se hacen para “preservar” el socialismo, no para destruirlo.

(lunes 18 de abril de 2011, p.9)

71 .Olvidando por supuesto que eran antes que nadie los electores marfileños quienes querían deshacerse de un presidente que reinaba desde hacía más de cinco años sin mandato.

(lunes 18 de abril de 2011, p.10)

44 .Antes de dirigirse al colegio Menezes quemó su ordenador y destruyó su casa, que dona a una institución de cuidado de animales abandonados.

(sábado 9 de abril de 2011, p.9)

49 .Trodec aclaró hace unos días que la BEA ya examinó este sitio, en junio de 2009, días después del accidente, sin éxito.

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

50 .La primera llegó entre 35 y 45 minutos después del terremoto.

(lunes 18 de abril de 2011, p.7)

53 .El hotel en el que estaba este corresponsal, en la décima planta, crujió y se

balanceó durante un minuto que pareció eterno.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

56 . Mubarak, de 82 años, ya fue sometido a un primer interrogatorio el martes. Durante el mismo sufrió una crisis nerviosa y fue trasladado a un hospital de Sharm el Sheij, la localidad del mar Rojo a la que se retiró tras la dimisión.

(jueves 14 de abril de 2011, p.4)

58 .Potenes submarinos equipados con receptores especializados peinaron la zona durante más de 40 días (incluyendo el área en cuestión en la que han aparecido ahora los restos), en busca del sonido.

(jueves 14 de abril de 2011, p.8)

72 .De igual modo, durante la última visita de esta corresponsal a Saná, el pasado febrero, todos los portavoces de la oposición mencionaban que había que incluir a los huthis del Norte en cualquier negociación para el futuro pos-Saleh.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

63 .Sin embargo, en sus declaraciones públicas, los portavoces del Foro Común, el paraguas que agrupa a los partidos opositores, rechazaban hasta ahora el plazo de 30 días y las garantías de inmunidad.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

64 .Sin embargo, en la rebautizada como plaza del Cambio de Saná independentistas sureños, simpatizantes huthis y soldados que hasta hace un mes se enfrentaban a ellos, han unido sus voces contra el cuestionado presidente, Ali Abdalá Saleh.

(viernes 22 de abril de 2011, p.3)

66 .Su otro gran aliado, Estados Unidos, que hasta ahora consideraba a Saleh un aliado indispensable en la lucha contra Al Qaeda, también ha empezado a tomar distancias.

(sábado 9 de abril de 2011, p.3)

67 .“Hasta el jueves no teníamos información de que la oposición contara con tanques”, replicó Harding desde Nápoles, informa Reuters.

(sábado 9 de abril de 2011, p.5)

69 .Era la primera vez que Francia, que hasta ese momento contemplaba el conflicto de su excolonia desde la barrera, se implicaba - bajo auspicio de la ONU - con disparos reales en la guerra civil que se libraba en la capital económica del país africano.

(martes 12 de abril de 2011, p.6)

#### 時の位置を表す副詞的補語

41 .Las alarmas volvieron a saltar ayer en Japón.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

42 .Barack Obama y el presidente de Colombia, Juan Manuel Santos, anunciaron ayer un acuerdo para ratificar rápidamente en el Congreso el largamente esperado Tratado de Libre Comercio...

(viernes 8 de abril de 2011, p.3)

60 .El bombardeo indiscriminado continuó ayer inclemente, y los proyectiles impactaron en el centro y en los barrios residenciales de esta población de 300.300 vecinos, la tercera más habitada de Libia.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

61 .Vecinos de Misrata 200 kilómetros al oeste de Trípoli, y la única población del occidente libio que no se ha rendido a las tropas del dictador aseguraban ayer lo que otros residentes heridos destacaban el domingo cuando hicieron escala en Bengasi rumbo a Turquía.

(viernes 8 de abril de 2011, p.6)

65 .Londres cree que los disidentes republicanos tienen ya infraestructura para atender no solo en Irlanda sino en la isla de Gran Bretaña, según aseguraba ayer el diario londinense The Observer.

(lunes 25 de abril de 2011, p.8)

70 .Simultáneamente al coro de voces de los ministros de Exteriores de Reino Unido, Italia y Estados Unidos, que exigían ayer a Muamar el Gadafi que renuncie al poder, una delegación de la Unión Africana se esforzaba por arrancar a los rebeldes libios un acuerdo de alto el fuego.

(martes 12 de abril de 2011, p.8)

68 .Más de medio millón de hogares seguían anoche sin suministro eléctrico en el noreste de Japón.

(sábado 9 de abril de 2011, p.8)

43 .Hasta ayer por la mañana, cuando a las 8.30 un joven de 23 años, Wellington Menezes de Oliverira, entró con dos pistolas en la escuela municipal Tasso da Silveira de la localidad de Realengo, al oeste de Río de Janeiro, donde había estudiado.

(viernes 8 de abril de 2011, p.5)

47 .A finales de 2009, cambió un billete a Caracas por otro a Brasilia.

(martes 12 de abril de 2011, p.5)

51 .La madrugada del domingo añadió Kaim que el Ejército no abandonab la ciudad y que tan solo detendría sus operaciones militares.

(lunes 25 de abril de 2011, p.3)

54 .La empresa advirtió el miércoles pasado de que el hidrógeno se está acumulando en los reactores, lo que podría provocar explosiones similares a las que ocurrieron en la planta en los primeros días del desastre, y ayer comenzó a inyectar nitrógeno en la vasija de contención del reactor, con objeto de desplazar al oxígeno.

(viernes 8 de abril de 2011, p.2)

55 .Sobre una camioneta desvencijada, firmemente apoyado en su dolor, el poeta Javier Sicilia sacudió la tarde del jueves el alma de México al plantear un dilema tremendo que él acaba de sufrir en carne propia.

(viernes 8 de abril de 2011, p.4)

57 .Al día siguiente, 14 de enero, huyó del país.

(jueves 14 de abril de 2011, p.6)

62 .*The New York Times* aseguraba el pasado lunes que Washington ha “concluido que es improbable que [el presidente yemení] lleva a cabo las reformas necesarias, por lo que debe facilitarse su salida”.

(sábado 9 de abril de 2011, p.3)

## 10. 結論

本稿の目的は時の副詞的補語を使った過去形の分類だが、過去形を分類する際には適切な時の副詞的補語の分類に加えて、動詞が表す意味の完

結・非完結や、形態相から見た場合の単純過去・未完了過去の用法の違いの理解が必要であることが分かった。今回のデータ分析により、時の副詞的補語を使って過去形を分類する際に最も影響を与える要素は形態相であると考えられる。また、期間を表す副詞的補語も時の位置を表す副詞的補語も単純過去と共起しやすいことが分かった。この点については、以下でさらに詳しく述べる。

まず先に、期間の副詞的補語と時の位置を表す副詞的補語の再分類したものをここでまとめておく。García Fernández(1999)の分類では2つのグループに分類されるものが出てくるが、本稿では1つの副詞的補語が必ずどちらか一方に分類されるようにした。

#### 期間を表す副詞的補語

en..., durante..., desde..., desde...hasta..., hasta..., de...a..., a partir de..., entre..., antes de..., después de...など  
...には時を表していると考えられる語が入る。

#### 時の位置を表す副詞的補語

ayer, a las tres, el año pasado, esta semana, estos días, a medianoche, anoche など  
出来事がどの時の位置で起きたかということが判断できる語が分類される。

次に、～ までの結果を細かく見ていく。

まず と では意味相の完結・非完結よりも、単純過去という形態相の優先度が高いことが分かった。非完結相よりも完結相の方が単純過去と組み合わせやすいが、それは完結相も単純過去も出来事の始まりと終わりがはっきりしているからであると考えられる。とはいえ、完結相でも非完結相でも、形態相が優先されるということが結果から分かる。

と は、未完了過去が使用された場合の例である。未完了過去の過去の状況の説明や描写という解釈や時制の一致によるもの多く見られた。し

かし、 のように完結相の動詞を用いても、未完了過去が使われていることから、やはり意味相の完結・非完結はあまり影響を持たず、基本的には未完了過去という形態相で、過去の状況を表すという解釈が多いことが分かった。

と は時の副詞的補語 + 単純過去という組み合わせである。つまり、 と に時の副詞的補語を付け加えたものである。García Fernández (1999)によると、出来事の始まりと終わりを視覚化させるというアスペクトを持つ単純過去と、出来事の範囲を制限する時の期間や位置を表す副詞的補語は完全に両立するということである。実際に今回の分析データを見ても、過去形が使われている例の中で単純過去が時の副詞的補語と組み合わせさせた例は最も多く、時の副詞的補語と共起しやすいとすることができる。

と は時の副詞的補語 + 未完了過去という組み合わせで、 と に時の副詞的補語を加えたものである。García Fernández (1999)によると、時の副詞的補語は過去の習慣であると解釈される場合を除いては未完了過去と共起できないということである。しかし実際に集めた例を見てみると、多くはないが未完了過去が時の副詞的補語と一緒に使われている例が存在している。これについて筆者は、未完了過去の「過去の状況を説明する」という解釈は、時の副詞的補語の制限や動詞の意味の完結というアスペクトよりも優先されると考える。また、文中に時の副詞的補語があった場合でも、時制の一致をするために未完了過去が使われるということもある。

まとめると、本稿で扱った時の副詞的補語は例外なく単純過去と共起するものの、未完了過去と組み合わせさせた場合は、「過去の状況を表す」という解釈 > 時の副詞的補語 > 動詞の意味相という順に優先度があると考えられる。

最後に、今回は新聞という媒体を使用したがる、これが物語や詩を用いて考察した場合にはまた違った結果が出てくるかもしれない。とはいえ、本稿の目的である時の副詞的補語と過去形の共起関係を明らかにするというを、多かれ少なかれ達成できたのではないかと思う。時の副詞を使ったこの分類が少しでも学習者の役に立てば幸いである。

引用文献

Alarcos Llorach, Emilio (1982): *Perfecto simple y compuesto*, Gredos, Madrid p13-49.

Bello, Andrés (1847): *Gramática de la lengua castellana destinada al uso de los americanos*, Edición digital,1995.

<http://cervantesvirtual.com/servlet/SirveObras/04694925499104944157857/index.htm>.

García Fernández, Luis (1999): *Los complementos adverbiales temporales. La subordinación temporal*, Bosque et al “Gramática descriptiva de la lengua española”, Espasa Calpe.

畠山真一 (2008) 「動詞の限界性を判定するテストセット」, 尚絅学園研究紀要. A, 人文・社会科学編 2, 27-39.

工藤真由美 (2009) 『アスペクト・テンス体系とテキスト』, ひつじ書房.

Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española (2005): “Diccionario panhispánico de dudas”, Santillana.

Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española (2009): “Nueva gramática de la lengua española” vol. , Espasa Calpe.

Reichenbach, Hans (1947): *The Tenses of Verbs*, “The elements of Symbolic Logic”, the Free Press, New York.

ライヘンバッハ (石本新 訳) (1982) 『記号言語学の原理』, 大修館書店.

Ruiz Tinoco, Antonio(2004) 「スペイン語の「完了性について」 「ボンヤリ過去」と「ハッキリ過去」の提案」, 寺崎英樹教授退官記念論文集刊行委員会 編, くろしお出版.

西川喬 (2009) 「動詞 時制」, 山田善郎監修『中級スペイン文法』, 白水社.

西川 喬 (2010) 『分かるスペイン語文法』, 同学社.

寺崎英樹 (1999) 『スペイン語文法の構造』, 大学書林.

山村ひろみ(2004)「時制機能の確定と variación sintáctico-semántica 日記の中の pretérito perfecto simple と pretérito perfecto compuesto を手がかりとして」, 寺崎英樹教授退官記念論文集刊行委員会 編, くろしお出

版.

山村ひろみ (2011) 「スペイン語時制体系再構築のための覚書 : NGLE におけるスペイン語時制の扱い方を踏まえて」九州大学学術情報リポジトリ, <http://hdl.handle.net/2324/19914>.

資料体

EL PAÍS, viernes 8 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, sábado 9 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, martes 12 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, jueves 14 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, lunes 18 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, viernes 22 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.

EL PAÍS, lunes 25 de abril de 2001, Ediciones EL PAÍS, S.L.